

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2023年度 【2023年4月1日～2024年3月31日】



エコアクション21[®]
認証番号0003441

株 式 会 社 中 井 組

2024 年 7 月 1 日 作 成

目 次

1. はじめに	P.1
2. 会社組織概要	P.2
3. 環境方針	P.3
4. 実施体制図	P.4
5. 環境目標・活動計画の内容とその実績	P.5～9
6. 環境活動の取組結果の評価	P.10～11
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P.11
8. 外部からの指摘や苦情等の有無	P.12
代表者による全体評価と見直しの結果	P.12

1. は じ め に

近年、生活水準の向上に伴う大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムは、私達に便利で快適な暮らしをもたらしましたが、その一方で自然環境等に多大な負荷を与え、そのため社会経済システムと自然環境バランスが崩れ、地球温暖化や資源の枯渇など、このままでは人類の生存そのものが脅かされる事態になりつつあります。

特に我々建設業においても、森林破壊・大気汚染・水質汚染・土壌汚染・廃棄物汚染の環境破壊は重大な問題となっており、決して切り離すことは出来ません。

当社も、環境問題に対し今までの20世紀型の社会経済システム「大量生産・大量消費・大量廃棄」から「最適生産・最適消費・最小廃棄」の循環型社会へとの要求を満たす企業へと発展しなくてはなりません。すなわち要求を満たす取組とは、「環境保全」「社会的責任(法令遵守)」「経済効果」の課題を十分認識し、企業活動を行っていくことが、企業として存続できる基本的条件であると考えます。また企業を担う社員一人ひとりが環境意識を高め、業務のさまざまな場面で環境に目を向けると同時に、その意識の輪が社会に広がっていく事を望みます。

弊社では、2007年12月1日に体制を整備し、環境活動に取組み始め、今期は13期目となっております。その結果内容等を環境活動レポートとして、社会にむけて公表いたします。

尚、本書作成にするにあたっては、環境省・エコアクション21ガイドライン「建設業者向けガイドライン2017年版」を参考にしました。

株式会社 中 井 組

代表取締役 中井 崇義

2. 会社組織概要

【年度は4月から翌年3月まで】

2.1 事業所名：株式会社 中 井 組

2.2 代表者名：代表取締役 中 井 崇 義

2.3 所在地

本社 〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅2512番地

支店 和歌山支店 〒641-0045 和歌山市堀止西2丁目10-44
田辺支店 〒646-0027 和歌山県田辺市朝日ヶ丘19番31号
田辺混合所 〒646-0001 田辺市上秋津久保田字杉谷2310-102
紀北営業所 〒649-6235 岩出市西野148-1-2D
高垣倉庫 〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅2662-3
由良プラント跡地 〒649-1104 日高郡由良町江ノ駒大谷坪251-1
由良国道筋 〒649-1102 日高郡由良町大字中字出33-1

2.4 創 立 ： 大正11年7月1日

2.5 資 本 金 ： 9,800万円

2.6 主たる事業 ： 総合建設業

認証・登録の範囲：総合建設に関わる設計、施工及び施工管理
サイトは上記の全サイト

(由良プラント跡地の再活用および由良国道筋の新規取得地で2015年6月以降太陽光発電を電開始したので、拡大サイトとして追加した。)

2.7 建設業登録：和歌山県知事(特-6) 第15082号
(令和6年7月16日～令和11年7月15日)

2.8 ISO品質登録：JISQ9001:2015 QC03J0193
(平成15年12月18日登録、有効期限令和9年12月27日)

2.1 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	1,982	4,635	1,655
従業員数 ※	人	65	65	65

(※パート、アルバイトは除く)

(床面積)

本社	1,420 m ²	田辺混合所	900 m ²
和歌山支店	33 m ²	高垣倉庫	2,421 m ²
田辺支店	242 m ²	紀北営業所	m ²

(敷地面積)

由良プラント跡地	2,108 m ²	由良国道筋	1337 m ²
		【合 計】	8,461 m ²

2.11 環境に関する責任者等

- 1) 環境管理責任者 営業部 坂本寛史
- 2) 連絡先 TEL 0737-62-4131
FAX 0737-63-4360

3. 環 境 方 針

株式会社中井組は、当社の全ての事業活動において、法律・規則要求事項を順守し、限りある資源を大切にして、環境保全につながる環境行動指針を以下に定め、人と地球にやさしい環境づくりに積極的・継続的に取り組んでいきます。

(環境行動指針)

1. 事務所及び各事業所における総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量削減に取り組めます。
 - 1) 電力使用量削減に努めます。
 - 2) 自動車、機材車両等の燃料使用削減に努めます。
 - 3) 太陽光発電装置の運用に努めます。
2. 事務所及び現場における水資源投入量削減に取り組めます。
 - 1) 上水道使用量削減に努めます。
 - 2) 水の有効利用に努めます。
3. 事業所及び現場で発生する廃棄物総排出量削減に取り組めます。
 - 1) 3R推進運動に努めます。
 - 2) 廃棄物排出量の結果検証に努めます。
4. 事務所・各事業所における、紙使用量の削減に取り組めます。
 - 1) 紙使用量削減に努めます。
 - 2) 使用済紙の有効利用に努めます。
5. 環境配慮商品の比率を高めるため、グリーン調達推進に取り組めます。
(環境配慮した資材調達を含む)
6. 現場における騒音・振動・濁水等など周辺環境に配慮するように取り組めます。
7. 環境に対する自覚と知識の向上を図るため、環境教育活動推進に取り組めます。
8. 環境への取組みを、環境経営レポートとしてとりまとめ社会への公表に努めます。

この環境方針を実現するために、各部門の業務において伝達させ実行させます。

2007年12月1日 制定

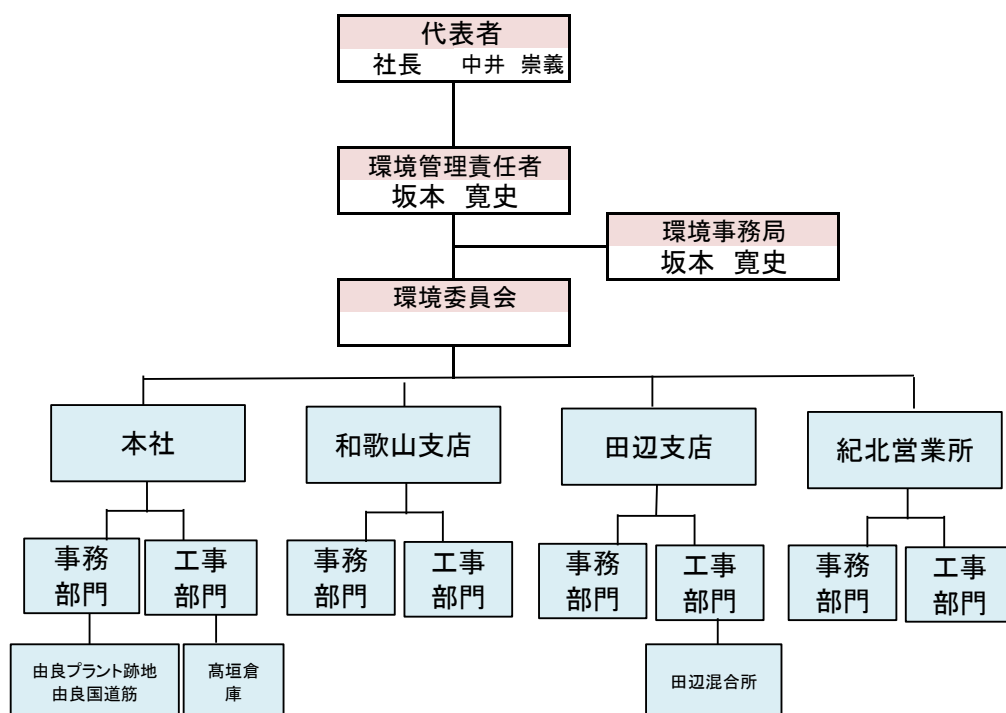
2019年 4月1日 改訂

株 式 会 社 中 井 組

代表取締役 中井 崇義

4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2017年4月11日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境目標・活動計画の内容とその負荷実績

5.1 環境目標

当社の活動内容がどれだけ環境に負荷を与えているのか、該当評価項目を選択する為
2009年度に「環境負荷チェックリスト」により判定したところ、環境に負荷を与えている項目とし
て、総エネルギー投入量、水資源投入量、紙使用量、温室効果ガス排出量、廃棄物
等総排出量、グリーン調達の推進が該当することが分かりました。

以下のような削減内容と数値目標を掲げ実施しました。

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1) 総エネルギー投入量 | (電力量、化石燃料削減) |
| 2) 水資源投入量 | (上水道使用量削減) |
| 3) 温室効果ガス排出量 | (二酸化炭素排出量削減・廃棄物排出削減) |
| 4) 紙使用量 | (紙使用量削減) |
| 5) 廃棄物等総排出量 | (廃棄物量削減) |
| 6) グリーン調達の推進 | (再生コピー用紙の利用【事務所】・再生アスコンの利用【現場】) |

5.2 環境目標の数値設定

5.2.1 【本社・支店事務所部門】

項 目	区 分	単 位	2017年度 基準値	2023年度目標値 目標値	2024年度目標値 目標値	2025年度目標値 目標値	2026年度目標値 目標値
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	901,598	847,502	838,486	829,470	820,454
	化石燃料	MJ	398,316	374,417	370,434	366,451	362,468
水資源投入量		m ³	692	650	644	637	630
紙使用量		t	0.770	0.724	0.716	0.708	0.701
温室効果ガス排出量※		kg-CO ₂	59,585	56,010	55,414	54,818	54,222
廃棄物等排出量		t	1.594	1.498	1.482	1.466	1.451
グリーン調達の推進		%	28.3%	33.3%	34.3%	35.3%	36.3%

※ CO₂換算係数 = (0.334kg-CO₂/kWh) 関西電力 2018年度調整後換算係数

【各現場事業所部門】

項 目	区 分	単位	2017年度 基準値	2023年度目標値 目標値	2024年度目標値 目標値	2025年度目標値 目標値	2026年度目標値 目標値
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	1,740,244	1,635,829	1,618,427	1,601,024	1,583,622
	化石燃料	MJ	5,865,736	5,513,792	5,455,134	5,396,477	5,337,820
水資源投入量		m ³	768	722	714	707	699
紙使用量		t	0.462	0.434	0.430	0.425	0.420
温室効果ガス排出量※②		kg-CO ₂	475,408	446,884	442,129	437,375	432,621
廃棄物等排出量		t	7.056	6.633	6.562	6.492	6.421
グリーン調達の推進※①		%	10.0%	15.0%	16.0%	17.0%	18.0%

※ CO₂換算係数 = (0.334kg-CO₂/kWh) 関西電力 2018年度調整後換算係数

5.3 環境目標の実施計画内容

5.3.1 総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量削減対策

電気使用量の削減

2017年の実績に対して5%削減に努める。

(目標達成手段)

冷房28℃ ± 1℃、暖房20℃ ± 1℃を目安とする

本社・支店事務所内の服装はクールビズ・ウォームビズを励行する。

無人にする部屋は消灯励行の徹底。

晴天時、昼間時の消灯励行を行う。

燃料使用量の削減

2017年の実績に対して5%(事務所)、5%(現場)削減に努める。

(目標達成手段)

駐停車時のアイドリングストップの徹底。

経済速度運転の実施(急発進、急加速、急ブレーキの禁止)

低公害車への検討を行う。

① 空調温度の適温化

(冷房28℃ ± 1℃、暖房20℃ ± 1℃を目安とする)



適温ステッカーの実施状況

② 照明の消灯励行

従業員不在箇所、会社退社時、トイレ使用後等



消灯・節電ステッカーの実施状況

5.3.2 水資源投入量削減対策

上水道使用量の削減

2017年の実績に対して5%削減に努める。

(目標達成手段)

洗い物は時間を決めまとめて洗う

洗面所・トイレでの水の使用は無駄に使わない

洗車等での水使用をこまめにし、出し放しをしない

特に水を使用する作業は、水道水の出し放しをしないよう指導する

現場での散水の時間管理に気を配る

① 節水運動の展開を図る



節水ステッカーの実施状況

5.3.3 紙使用量削減対策

コピー用紙等の使用量の削減

2017年の実績に対して5%(事務所)、5%(現場)削減に努める。

(目標達成手段)

コピー及びプリントアウトは必要最小限とする

FAX受信用紙や、社内の文書コピーは印刷済み裏白紙を再利用する

使用した紙は、紙リサイクル業者へ持込む

① 片面印刷したコピー用紙の裏面再利用



(裏面利用用紙の分別収集)



裏面利用用紙の分別収集状況

5.3.4 廃棄物等総排出量削減対策

廃棄物の削減

2017年の実績に対して5%(事務所)、5%(現場)削減に努める。

(目標達成手段)

着手前検討会議で分別回収計画を検討する

産業廃棄物の分別回収に努め、再利用・再資源化に努める。

材料業者、協力業者からの残材、梱包・包装材の削減、持ち帰りを推進する

工事反省会にて産業廃棄物排出量の結果検証を行う

① 分別収集作業運動促進



分別収集作業の実施状況

5.3.5 環境配慮対策の促進活動・環境教育活動の推進

① 封筒・段ボール・包装紙の再利用

② エコ事務用品(詰替え可能用品)の購入



① 環境教育活動の開催実施



③ 地域美化運動の実施



② 環境上の緊急事態における訓練の実施



5.4 環境目標の実績

当社の活動内容がどれだけ環境に負荷を与えているのか、該当評価項目を選択する為「環境負荷チェックリスト」により判定したところ、環境に負荷を与えている項目として、総エネルギー投入量、水資源投入量、総物質投入量、温室効果ガス排出量、廃棄物等総排出量が該当する目標値として掲げました。その具体的にどれだけ負荷を与えているのかの数値は、下記のとおりです。

【本社・支店事務所部門】

項 目	区 分	単 位	2017年度 基準値	2023年度	
				目標値	実績値
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	901,598	847,502	830,841
		増減比			-2.0%
	化石燃料	MJ	398,316	374,417	364,760
		増減比			-2.6%
水資源投入量		m ³	692	650	638
		増減比			-1.9%
紙使用量		t	0.770	0.724	0.681
		増減比			-5.9%
温室効果ガス排出量		kg-CO ₂	59,585	56,010	52,404
		増減比			-6.4%
廃棄物等排出量		t	1.594	1.498	1.367
		増減比			-8.8%
グリーン調達の推進		%	28.3%	33.3%	35.4%
		増減比			2.1%

【各現場事業所部門】

項 目	区 分	単 位	2017年度 基準値	2023年度	
				目標値	実績値
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	1,740,244	1,635,829	1,613,182
					-1.4%
	化石燃料	MJ	5,865,736	5,513,792	5,449,179
					-1.2%
水資源投入量		m ³	768	722	720
					-0.3%
紙使用量		t	0.462	0.434	0.430
					-1.0%
温室効果ガス排出量		kg-CO ₂	475,408	446,884	425,785
					-4.7%
廃棄物等排出量		t	7.056	6.633	6.390
					-3.7%
グリーン調達の推進		%	10%	15%	17%
		増減比			1.6%

※ 総エネルギー、水資源投入量、総物質投入量、温室効果ガス排出量は、各支店管轄の現場も反映しています。

※ 総エネルギーの化石燃料、温室効果ガスには重油使用量を加算しています。

※ 総物質投入量には紙使用量のみの数量を反映しています。

6. 環境活動の取組結果の評価

評価に対するコメント

今期でエコアクション21に取組み始め、13期目に入りました。社内においても少しずつ環境への配慮という意識が生じておりますが、目標達成という点についてはまだまだ不十分であります。

次年度以降については、目標達成のため、各社員の行動を出来るだけ管理できるような体制の構築、又、さらなる環境への意識を向上させるべく、会社をあげて取り組んで行きたいと考えております。

1) 総エネルギー投入量について

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標	2023年度実績	
				2017年度の基準値に対して	(2023年度の目標に対して)	
事務所	電力	MJ	901,598	6%削減 (847,505)	830,841	2.0%減
	化石燃料	MJ	398,316	6%削減 (398,316)	364,760	8.5%減
現場	電力	MJ	1,740,244	6%削減 (1,635,829)	1,613,182	1.4%減
	化石燃料	MJ	5,865,736	6%削減 (5,513,792)	5,449,179	1.2%減

(コメント)

事務所・現場両部門において目標達成できております。

各部門において今後も目標達成に向け取り組みを継続していきます。

2) 水資源投入量について

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標	2023年度実績	
				2017年度の基準値に対して	(2023年度の目標に対して)	
事務所		m ³	692	6%削減 (650)	638	1.9%減
現場		m ³	768	6%削減 (722)	720	0.3%減

(コメント)

事務所・現場両部門において、昨年度と同様に目標達成できております。 事務所においては水道に関しては蛇口の閉め忘れ注意や、節水コマを使用し日頃から心掛けております。

現場においては河川付近での工事の際は汲水使用を心掛け、節水に努めて行きたいと思っております。

3) 紙使用量について

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標	2023年度実績	
				2017年度の基準値に対して	(2023年度の目標に対して)	
事務所		t	0.770	6%削減 (0.724)	0.681	6.0%減
現場		t	0.462	6%削減 (0.434)	0.430	1.0%減

(コメント)

事務所・現場両部門において目標達成できております。

紙ベース保管が必要な種類を除き、できるだけデータ転送を行い紙使用量の削減を図っております。

4) 温室効果ガス排出量について

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標 2017年度の基準値に対して	2023年度実績 (2023年度の目標に対して)	
事務所		kg-CO2	59,585	6%削減 (56,010)	52,404	6.5%減
現場		kg-CO2	475,408	6%削減 (446,884)	425,785	4.8%減
全社合計		kg-CO2	534,993	6%削減 (502,894)	478,189	5.0%減

(コメント)

事務所・現場両部門において目標達成できております。工事量増加により燃料消費量も増加しがちなので今後もその点に注意し取り組んで行きたいと思います。

5) 廃棄物等総排出量について

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標 2017年度の基準値に対して	2023年度実績 (2023年度の目標に対して)	
事務所		t	1.594	6%削減 (1.498)	1.367	8.8%減
現場		t	7.056	6%削減 (6.633)	6.390	3.7%減

(コメント)

これからも分別、再資源化を心掛けて取り組んで行きたいと思います。

現場においては特に再資源化を図れるものについては、積極的に取り組んで行きたいと思います。

6) 環境配慮等について(グリーン調達の推進)

部 門	区 分	単 位	2017年度の基準値	2023年度目標 2017年度の基準値に対して	2023年度実績 (2023年度の目標に対して)	
事務所		%	28.3%	6%増加 (33.3%)	35.4%	2.1%増
現場		%	10.0%	6%増加 (15%)	16.6%	1.6%増

(コメント)

事務所部門においては、今年度は0.5%増という結果になっております。目標達成はできておりますがグリーン調達の増加を図って行く必要があると感じられます。

現場部門においては、今年度も目標達成することができております。

7) 環境活動教育等について

(コメント)

ここ数年でエコアクションに対する社員の認識も深まってきていると感じられます。

会議では定期的に環境をテーマにした内容を議題にし検討・改善を図っております。

また、環境への取組みとして清掃活動等の地域社会貢献に繋がる活動を実施

することで社員の環境に対する意識を再認識してもらえるよう取組みを図って

おります。

8) 太陽光発電装置の運用について

サ イ ト	単 位	2023年度実績 (売電量)	CO2排出変換量 【単位:kg-CO2】
高垣倉庫	kWh	66,489	23,404
由良プラント跡地	kWh	71,544	25,183
由良国道筋	kWh	69,586	24,494

7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(コメント)

2022年4月において社内調査の結果、環境法規等の違反はありませんでした。また、過去3年間で関係機関からの指導や指摘もなく、環境に関する訴訟もありませんでした。

この結果を継続していくために環境への取組みや環境への意識の向上を社員一同、おこなっていかねばなりません。より一層の取組みを推進していきたいと思います。

法規制等	該当する要求事項	該当する設備・項目	遵守要件	判定
建設業法	特定建設業許可	建設業種15項目	届出	○
環境への取組みに関する基本的枠組みの法律	グリーン購入法	ファイルを対象商品 情報を収集	購買	○
大気汚染防止に関する法律	大気汚染防止法 ・ばい煙発生施設設置(使用・変更)届出	プラント(混合所)	届出	○
水質汚濁防止法に関する法律	水質汚濁防止法 ・事故時の応急措置、届出 浄化槽法 ・浄化槽調査・点検カード	本社・各支店・現場 本社・各支店	排水の水質 報告	○ ○
騒音・振動規制に関する法律	騒音・振動規制法 和歌山県公害防止条例 ・特定施設設置(既設)届出(騒音・騒動) ・特定建設作業実施届出	重機等(低騒音・低振動型) 各工事	使用届 届出	○ ○
廃棄物処理法	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付 処理業者との契約、許可証写し保管 水銀含有産業廃棄物の適切な処理	各工事 蛍光灯や水銀電池の廃棄時排出業者	マニフェスト 報告書 契約書・許可証 契約書・許可証	○ ○ ○
リサイクルに関する法律	建設リサイクル法 工事に着手する日の7日前までに、主務省令で定めるところにより、次に掲げる事項を都道府県知事に届け出なければならない。 ・解体工事である場合においては、解体する建築物等の構造 ・工事着手の時期及び工程の概要 ・分別解体等の計画 ・その他主務省令で定める事項 ・解体工事である場合においては、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み 資源有効利用促進法 様式7 再生資源利用計画書(実施書)	各工事 各工事	届出 書類	○ ○
消防法	・危険物製造所等の位置・構造・設備以外の変更届出書 危険物保管の指定数量の許可 ・危険物保管の指定数量の届出 ・指定可燃物の指定数量の届出	プラント(混合所) 重油、灯油、シンナー 潤滑油、樹脂材料	届出 届出	○ ○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	本社・各支店	3ヵ月に1回以上	○

8.外部からの指摘や苦情の有無

(コメント)
今年度は外部からの苦情はありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直し・指示の概要

2024年7月1日
代表取締役 中井 宗義

(コメント)
エコアクション21の取組みを始めて14年が経ちました。
事務所においては、出来る限り改善に努めております。 事務所内にLED灯の設置や当社所有の倉庫他に太陽光発電システムを設置し、環境への取組みを促進しております。
現場においては、出来る範囲で廃棄物の分別、再資源化、再生資材の使用を図っております。
社員の環境への意識については、当社で行われる会議などを通じて定着しつつあるように感じております。
また、社内においての環境活動だけでなく、地域の清掃活動を実施など、地域社会に貢献できる企業として取り組んでいきたいと考えております。
なお、環境方針、環境目標・計画、実施体制については現状を維持して継続して取り組んでいくこと。